

## 各地区実行委運動の先頭に立とう！

韓国では朴独裁政権のもとで、自由と民主主義、自主的平和統一を求める民衆の闘いが広汎にくり抜かれていきます。南朝鮮の労働者は、低賃金と劣悪な労働条件、長時間労働を強要され、その生存権すら脅やかされています。このような状況の中で、千葉県労連は、総評の取り組みに踏まえ、韓国民主化闘争に連帯する立場から、「オモニ」怒りは燃える」の映画上映をはじめ、署名・カンパ活動を決定し、「オモニ」上映・韓国民主化闘争に連帯する署名とカンパ運動実行委員会(議長一井原県労連議長)を結成し、取り組みを要請しています。勤労千葉は、県労連の常幹単産として、この闘いに全力を上げて取り組みを決定し、「勤労千葉指示第九号」をもって取り組みの細部について指示してきました。

青年部、他に先がけて  
上映活動・学習を開始！  
6月16日  
17日

映画「オモニ」の上映については、各地区実行委を結成し、関係支部へ要請が行われることとなりましたが、青年部は、これより先に六月一六・一七日に開催する全支部活動者会議の場で、「オモニ」を上映するとともに、署名・カンパ活動に取り組みを決定しています。

その他の支部においても、署名・カンパ活動を中心とした具体的取り組みが開始されています。日本が三六六年間も植民地支配を続けた朝鮮が、解放と同時に南北に分断され、南朝鮮において、労働者が言語につくせない苛酷な弾圧の下にあり、それを乗り越えて、自由と民主化のために闘っているとき、この南朝鮮の労働者・人民と連帯して闘うことは当然であります。

闘いのうねりをつくりだそう！

今日、東京サミットが開催されようとしている



それでも歌う自由の歌 韓国

10日、警察の車で連行され、金網にすがりついて「市民権運動の歌」を歌う韓国の繊維工場従業員。彼女たち約30人の女子労働者は、ソウルでこの日催された労働記念日の式典で、反政府デモを行ったため、警察に連行された=AP

が、世界的支配体制の危機の中で、朴独裁体制下における南朝鮮労働者・人民の苦闘と、金大中氏事件に象徴されるような日本の支配階級が、南朝鮮人民への弾圧に手を借している事実を、われわれは、見過ごす訳にはゆきません。このような立場に踏まえ、われわれは、映画「オモニ」上映、署名・カンパ運動を積極的に取り組み、成功させ、労働者としての意識を高める中から、弾圧下で苦闘を続けている南朝鮮労働者・人民のおかれてはいる立場を理解し、更に連帯を強化してゆこうではありませんか。

「オモニ」怒りは燃える

一九七〇年十一月三日、ソウル市の一角で、縫製工場の労働者であった一青年は、年若い女性労働者に対する企業主の非人間的待遇に抗議「われわれは機械ではない」と叫びながら壮絶な焼身自殺を遂げた。彼は死の直前、その母に對し、「ぼくの死をむだにしないで、労働者のために闘ってください」と遺言を残して息をひきとった。母は、以前夫を労働運動でクビにされた。労働運動はこりごりだと思っ過ぎてしまった。しかし、今、息子の死を直前にみて、南朝鮮労働者たちの先頭にたつて闘うことを決意する。「みんなが人間らしく生きられる社会」の実現のため命をかけて労働運動に身を投じた南朝鮮労働者の母の姿を通して、われわれに訴えかけるもの、それは、必ずや南朝鮮と日本という民族的壁をのりこえ、朴政権のファッショ独裁と日本の対韓経済侵略に反対する共同の闘いを通じ、連帯を強化し、闘いの高揚が造り出せるのだということを確信をもって伝えるものがこの「オモニ(母)」であるといえます。

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

## 韓国民主化闘争に連帯し 『オモニ』上映署名運動を成功させよう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！